

葛西玄涛先生選評



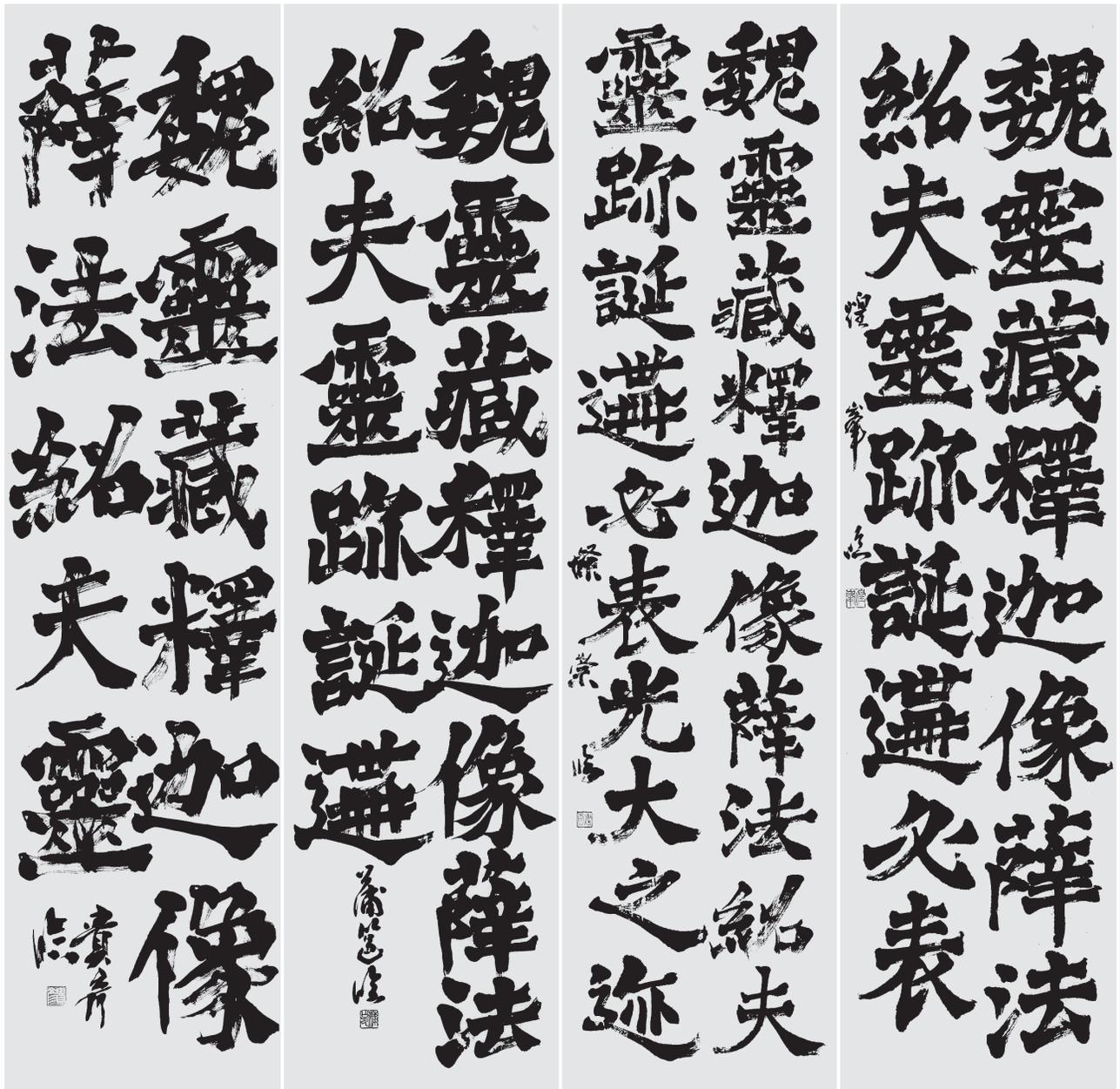
村山久翠 推選
果てしなく続く雪原のように雄大な作風の中に、繊細で可愛い線が冬の小動物のように見受けられ、大自然の風景を感じる。多彩な線を引き出しに持つ作家です。

飯田翠園 推選
強くて豪快な線を主力に澆洩とした気合を全面に押し出しています。筆と紙が接するときの圧力を柔らかくし、反発力に変えるのは高度な技術から生じたものだ。

数井春悦 推選
わずかな行の揺れ、文字の大小の変化を絶妙な配置にして仕上げています。文字間の呼吸を安定させ、途切れのない美しい流れを出すことで、完成度が高くなった。

阿南真由美 推選
細い直線を高音として響かせて、文字の傾きと字形に変化があり、楽しい。多くの音色を持つているが、調和されたのは紙にしっかりと浸透する線が多いからだ。

武良霜伯先生選評



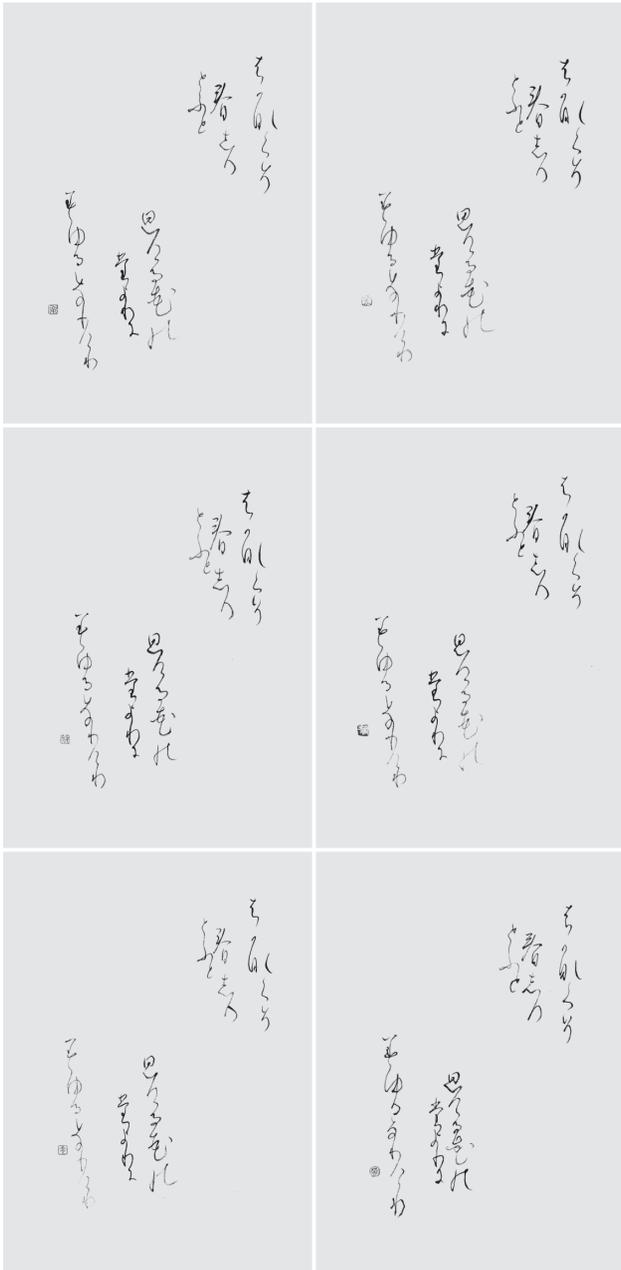
神戸 煌峰 推選
魏靈藏薛法紹造像記の拓本を良く観察され、起筆の角度、収筆の隸意のある流れ、良質の鋭い線が上手く表現されている。落ち着きのある作で達腕な方だと。

今村 燦崇 推選
すっきりとした細身の線で、凛然とした佇まいは品格の高さを感じさせます。筆力と共に渴筆、スピード、軽快なりズム、落款まで一貫性があり白眉な作です。

蓑島 蒲嶋 推選
紙面にしっくりと食い込む線が印象的です。闊達な線と伸びやかな収筆は、原帖の特徴を良く捉えており、落款と合わせて力量の高さ、腕の確かさが感じられる。

清水 貴彦 推選
リズムミカルで揺るぎない筆遣い、半折の紙面狭しと動く運腕が、気力の充実したスケールの大きな作品と成りました。見応えの多い直線表現が魅力的です。

吉澤真理先生選評



金子 恵 準六
 清澄な線で筆圧にも留意し、濃淡の変化が美しい爽やかな作品に仕上がりました。墨量も適切です。「能」は少々幅広になりま

藤原深華 五段
 柔らかく優しい筆線で潤渇のバランスも程良く見事な調和を見せています。渴筆部に緩急の変化が加わると更に古筆の味わいが増します。

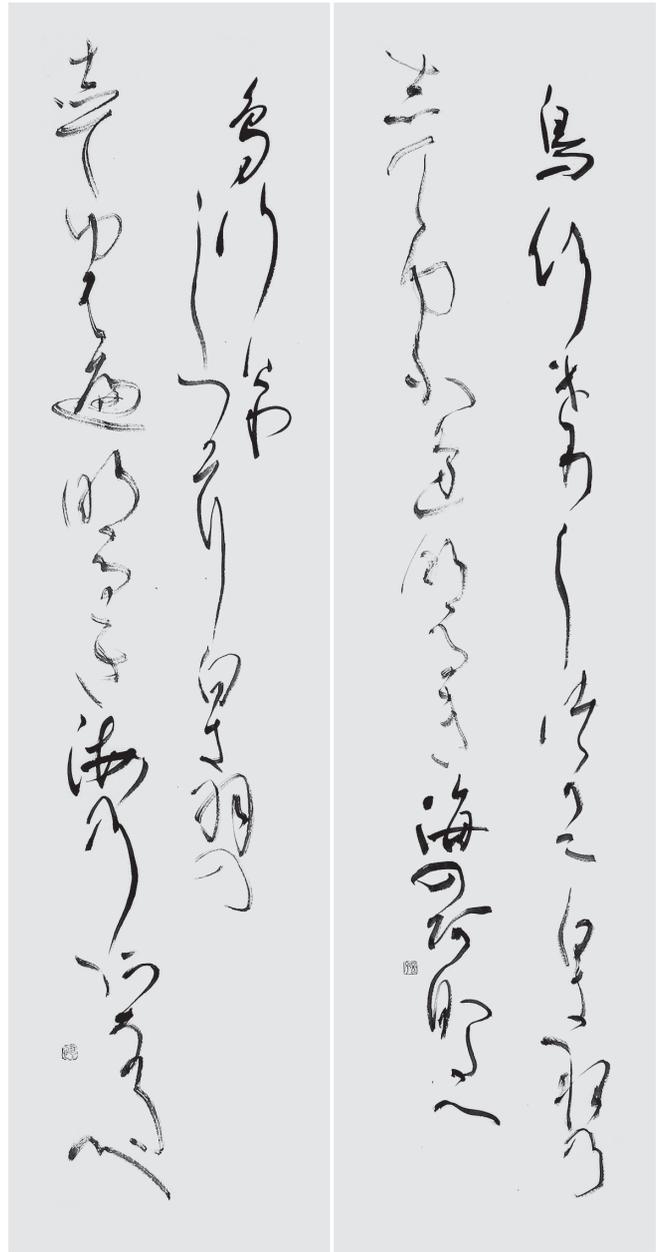
古田幸子 四段
 参考手本をよく研究し書作されました。深いくい込みのある線が加味されると更に表情豊かに。連綿の途中の墨つぎは避けましょう。

井出翠風 師範
 ゆつたりとした呼吸で一貫した行の流れが散らし書きを美しく見せています。筆の動きも大きく紙面の広がりを感じ堂々の作となりました。

堀山裕子 師範
 原帖のリズミカルな運筆や抑揚に富んだ筆致をよく表現されています。潤渇の移ろいも自然で凛とした趣があります。

多田英子 八段
 大らかな運筆。筆圧にも考慮され深みのある作品です。行が立つてしまいましたが右への流れを加えたい。字形への心配りを望みます。

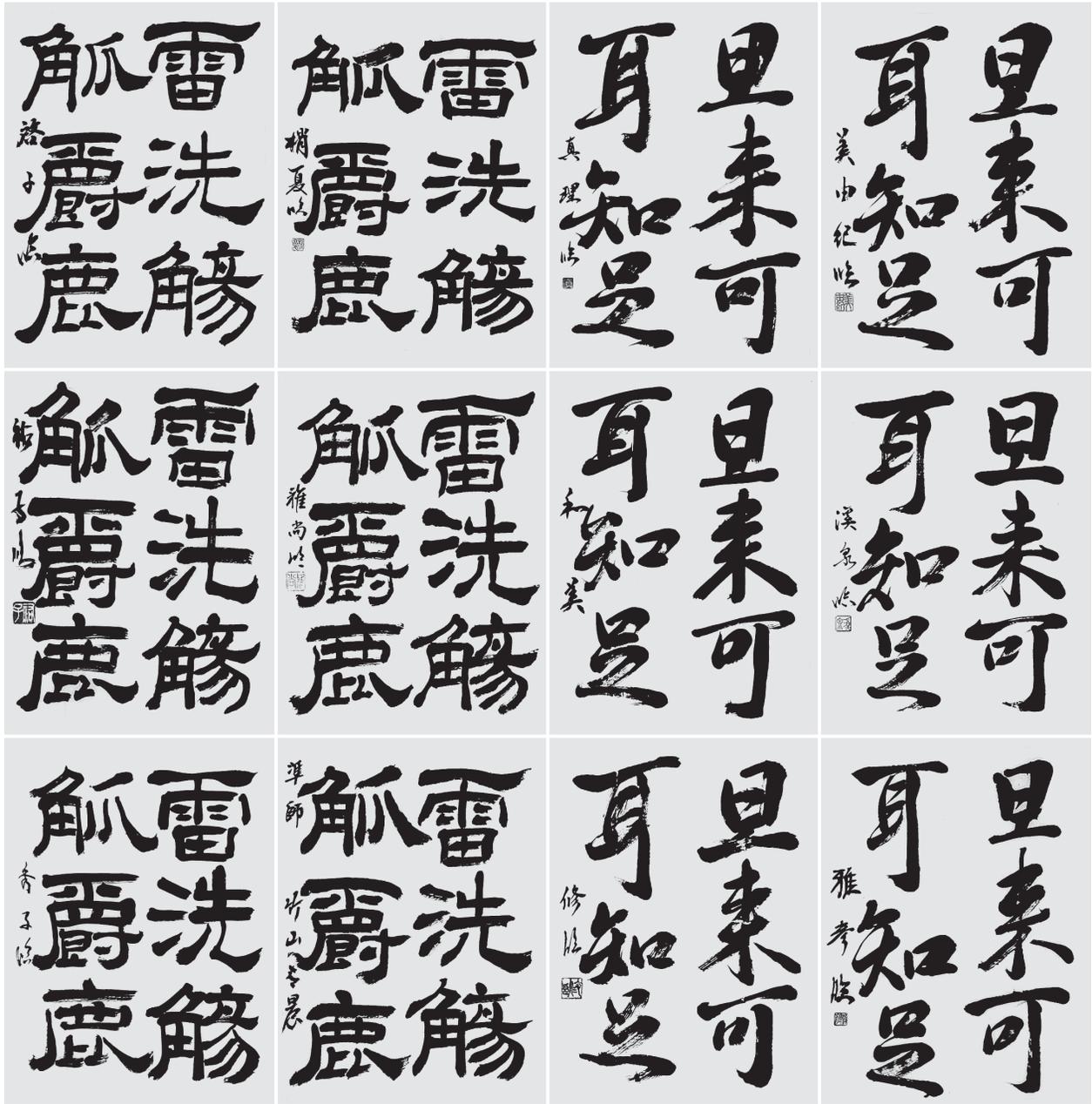
白幡陽子先生選評



松下晃子 推選
 勁い意志を込め緊張感をもたせた線条は凛として静寂な佇まい。ほつほつと放した字間の筆脈、揺らぎ合う連綿の妙味に力量を感じる。収まりよく品位ある作です。

小柳琴心 推選
 大らかで伸びやかな筆致が迷いなくリズムに乗り明るく爽やかな作となりました。三行目疎密の変化引き締め感が加わると更に魅力がグリードアップするでしょう。

江幡太璣先生選評



宮島美由紀 師範
三字目少し右に寄ったが握筆柔らかくリズム良く意先筆後、温かい線が魅力です。お名前前字間詰めて「臨」の位置に印だったと思います。

眞理 準四
柔らかく優しく温かい線がいいですね。潤筆は良いです。ので渴筆がもつと欲しかった。やはり「耳」でしようね。印が小さかったですね。

及川梢夏 師範
字の大きさ、字間などの余白素晴らしい。一、三字目の波磔は少し残念な所ですが、落ち着きがあり清澄な趣。師範の風格が漂っています。

坂本啓子 七段
波磔が伸びやかで美しく、活き活きとし爽やかで白の美しい作品になりました。隷書お好きですね。曹全碑も頑張ってください。期待しています。

オレニツチ深泉 七段
丁寧で真面目な筆遣い好感が持てます。「可」の縦画はもつと内側に。遅速の変化を意識して蘭亭序も頑張ってください。お名前少し細いですね。

伊堂寺和美 準四
紙に食い込んだ強い線が魅力です。墨量の変化ですが、多中少としたい。更に位置は「耳」で渴筆、「知」で墨でしようね。印が欲しいですね。

田尾雅尚 師範
幾つか縦長の字が見られますが、紙に食い込んだ強い線です。波磔も伸びやかで美しく気持ちい後まで行き届いています。

永田祐子 準六
どっしりした重厚感のある力強い作品です。波磔が少し観念的です。角度、筆圧などもつと原帖から。お名前上過ぎて印も大きいです。

森川雅彦 四段
思い切りの良い線が眼を引きました。書きっぷりの良さが見えて来ます。「足」の様な素敵な渴筆が「耳」にも欲しかった。印半分上かな。

高橋修 三級
動いています。抑揚あり遅速の変化あり大小あり素晴らしい作品です。三級？更に素晴らしい。今後も大いに期待して観て行きたいと思えます。

竹山書眞 準師
握筆柔らかく多種多様な筆圧、藏鋒が光ります。多少の渴筆があっても良かったか。準師範ですので「青晨臨」として印が欲しい所ですね。

金谷秀子 準三
一、二字目字間を広げたかったですね。縦長の字が多いからでしょう。線の太さ、二行目の字間、程良い強弱だと思えます。お名前が細い。